

フォレストニュース

植林が地球を救う
平成24年(2012)5月10日
No. 53
発行 高津啓洋

ミンガグアス市 都市プロジェクトに協力

現在進めているプロジェクトはパラグアイ第二の都市、エステ市近くのミンガグアス市の市をあげてのプロジェクトに大統領認可の南北米福地財団 (Minoru Nakata 理事長) とともに、環境モデル市の建設を成し遂げることです。

パラグアイ全土でデング病が問題になっており、その原因が国の衛生状態 (ゴミ等が市に散乱) が悪く、その結果、蚊の媒介によりデング病が広がっています。そのため、ミンガグアス市ではデング

病の根絶を目指すモデル都市とすることを決め、そのため、クリーン都市宣言をし、市民あげての運動を進めようとしています。

ミンガグアス市を1958年に建設する時、森林地帯を伐採し、森を破壊した歴史があり、モデル都市造りの第一弾として市を緑のある環境都市にすることを決め、街路に樹木を植え、そして市民が集い楽しむ事のできる市民の公園を作ることになりました。市民の公園にも多くの樹木を植え、緑豊かな公園になります。

ミンガグアス市は2010年の時、奉仕隊が行き、



市長と植樹する飯野元理事 (2010年)

5000本植樹のキャンペーンを行った市で、その時の経験から是非、市の目指す環境モデル都市造りに参加してほしいとの要請がありました。

3年前、エステ市に育苗所を設立し、現在では6000本ほどの苗木が育っています。

今後、ミンガグアス市の要請に応えるため、植え付ける苗木の種類も増やし、また今の土地で2000本の苗木を育てられる設備の拡張をはじめております。ミンガグアス市が成功すれば他の市からの要請も多くなるのではないかと思います。そのためには日本での対外的な渉外を同時に進めて行くことが必須になります。

奉仕隊 学校環境整備に協力

さらに、パラグアイ川から40km離れたマリアアウキシラドーラの学校の修復 (特に屋根)



強風で屋根が吹き飛ばされた校舎

と環境整備のための植樹を行います。1年前に州の援助によって建てられたばかりの新しい校舎ですが、見るからに手抜き工事で周りの家は特別な被害を受けた様子はないのに学校の屋根が写真のように全体が吹き飛ばされ完全にすべての教室が青空教室になってしまったと同じになりました。

豆知識：デング熱

熱帯・亜熱帯地方で主にみられるウイルス感染症で、原因はデングウイルスです。ヒトはデングウイルスに感染した蚊に刺されることによって感染します。

(1)デング熱

デング熱は、デングウイルスが感染し症状が現れた患者さんの大多数を占める病気です。

感染後2~10日ほどで突然の高熱で発症します。頭痛、眼の奥の痛み、腰痛、筋肉痛、骨痛が主な症状として現れ、さらに食欲不振、腹痛、吐き気、嘔吐、脱力感、全身倦怠感(けんたいかん)も現れることがあります。全身のリンパ節のはれもみられます。また、発熱してから3~5日目には胸、背中、顔面、腕、脚に発疹が出ることもあります。

これらの症状は約1週間で消え、通常は後遺症を残すことなく回復します。

(2)デング出血熱

デングウイルスに感染したヒトのうち、最初はデング熱とほぼ同様に発症し経過しますが、熱が平熱にもどるころに血液中の液体成分(血漿(けっしょう))が血管からもれ出したり、出血の症状が現れたりすることがあります。この病気はデング出血熱と呼ばれ、適切な治療を行わないと死亡することがあります。

ボランティア 支援のお願い

8月25日からの奉仕活動は、パラグアイ北部のマリア・アウキシラドーラ村と南部のミンガグアス市での植樹活動です。支援金の振込先：ゆうちょ銀行 記号10150番号63658601 (トクヒ) 地球の緑を守る会
三菱銀行 五反田支店 普通口座 2020330地球の緑を守る会